

菊陽中部小 人権講座

菊陽中部小では、人を大切に、「なかま」としてつながり合う子どもを育てることを目的として、原則として月1回(第3木曜日)町中央公民館で、人権講座を開催しています。本年度は6人の児童が参加。教科の基礎学習を20分程度行った後に、人権学習を行います。第2回目の講座では、色々な国の人物や建物、風景の写真を基に、人種、暮らし、文化などが多様であることを実感し、違いを認め合うことを学びました。

お互いのつながりをさらに深めたり、将来に対しての希望を確かなものにしたり、多くのことを学ぶ講座を目指します。



講師の高本校長と学んでいる子どもたち

ゆたかな心をはぐくむ 人権のひろば 132

人権啓発標語 「こせいは、だれもがもっている 自分じゃ気づかない 大切な物」

武蔵ヶ丘北小学校 4年 大堂 花奈(現在5年生)

「お父さんのしごと」



南小2年生のなかま(作者は2列目左端)

ぼくのお父さんは、ようどんぎょうのしごとをしています。じいちゃんがずっとぶたのおせわをしていたから、お父さんもはじめたそうです。

しごとは、はじめに、朝、ぶたに

えさをあげて、子ぶたのへやをそうじした後に、大きいぶたのへやをそうじします。これで朝のしごとはしゅうりょうです。つぎに、夕方(ゆふ)のしごとです。夕方(ゆふ)のえさをあげます。つぎの日のえさのじゅんぴをして、見回りをします。これで、一日(いちにち)のしごとはおわりです。

お父さんは、お肉(にく)になるぶたをそだてています。お肉を「おいしい。」と言われると、うれしいそうです。でも、大人のぶたは、百キロあるから、力が強くて大へんだそうです。ぶたはしゃべりません。だから、お父さんは、ぶたの気持ちになって考えます。びょう気になっていないか、さむくないかなど考えます。

ぼくは、お父さんのしごとは、ぶたの大切ないのちを大(お)じにそだてることだと思いました。お父さんは、

菊陽南小学校 2年 松野 文治(現在3年生)

「そのいのちをいただくのだから、のこさず食べてほしい。」と言ったから、のこさず、いろんな食べものを食べています。ぼくは、お父さんのしごとを見て、ぶたのいのちやみんなのいのちを大切にしたいと思いました。

お父さんのしごとのことをみんなにはっぴょうしたら、みんなが思ったことをつたえてくれました。みんなに、お父さんのぶたのしごとが大へんだ、と分かってもらえてよかったです。お父さんは、「いのちがあって、それをみんなが食べているんだよ。」と言っていました。生きものの分までさいごまでしっかり生きていきたいです。

(先生から)文治さんも、お父さんの仕事場(しごとば)に行って、ときどきえさを手つだっているそうです。「いのち」を大切にすることについて、お父さんにいつも聞いていたけれど、仕事について聞き取りをする中で、お父さんの思いを改めて感じたようです。発表を聞いた子どもたちは、「いただきますって、なに」で学習した、「いのち」をいただいていることとつなげていました。また、自分が聞き取った「うちの人のしごと」で感じたことと重ねて考えていました。

短歌会

窓開けてはあつと息を吐きみて気炎の湧くか寒きこの朝  
暖冬は雨降る量の倍になり長くつ履きてキャベツ採りゆく  
春来れば思わぬ所に咲き出する落葉の下の福寿草の花  
煙吐く遠阿蘇眺め歩み行く麦畑広がる暖かき午後  
しっかりと糸を握って走り出す子らの頭上に凧ははためく

松本 東亜  
中村 トシエ  
佐藤 せい子  
梅田 國雄  
有久 賢治

菊陽句会報

きくよう文芸

こぼれ南天はらはら地にはらら  
大寒や各地で稽古の勇士見る  
巡回バス廃止なる郷梅真白  
温暖化のびのび肥る冬野菜  
拡散ウイルスマスク求めて回る店  
榎明り昭和をしのぶかまどの火  
しゃぶしゃぶと牛肉揺らし新年会  
火山灰洗車洗車の阿蘇の冬

田島 三間  
宮川 ユキエ  
紫藤 祥子  
曾我 育代  
曾我 トモ子  
緒方 チエ子  
吉田 幸子  
米山 るみ子

氷の釘解けて水車の軋む音  
イケメンも美女もマスクの通勤者  
豆まきや鬼に泣く子の動画来る  
百合の芽の少し目ざめしプリンター  
病院や心機一転風光る  
しだれ梅光る滴を纏ひけり  
裸木の向こうに日矢射すビルの街

木村 信子  
財津 早雪  
原野 レイ子  
寺尾 千代子  
福田 貴子  
北川 しんじ  
佐藤 澄世

「2019年度 人権学習意識調査」結果より

菊陽町の小学5年生～中学3年生全児童・生徒2,402人を対象に2019年度に人権学習についての意識調査を実施しました。設問は①人権学習についてどう思うか②いじめを見たときどうするか③解決したい問題について④中国など外国からきた人と共に暮らすために学びたいこと⑤部落差別をなくす学習で分かったこと、心に残っていること⑥日頃の学習や人権学習でどう変わったかの6項目です。一部の報告になりますが、設問①については、右図のグラフのように95.2%の子どもたちが人権学習の大切さを感じています。また、設問⑥(複数回答)では「言葉や行動のおかしさ、出来事にきづくようになった」68.7%、「なかまとしてのつながりが深まった」49.6%と回答していました。

